

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	：十分達成できている
B	：おおむね達成できている
C	：やや不十分である
D	：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究において小中連携を継続し、生徒1人1台端末の有効活用など、分かる授業のための授業改善の必要がある。 ・生徒が安心して過ごせる学校生活を目指し、道徳の時間及び生徒指導・教育相談における取組の充実を図り、心の教育に取り組む必要がある。 ・生徒健康診断の結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の調査結果や報告書を活用して、生徒の健康・体づくりに取り組む必要がある。 ・業務の見直しを継続し、職員の働き方に対する意識改革を進め、業務改善・教職員の働き方改革を推進する必要がある。
2 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・校訓 「和気、立志、報恩」 ・学校教育目標 「脊振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成」
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 確かな学力（確かな学力の定着、家庭学習の充実、情報通信技術の有効的な活用の推進） ② 豊かな心（特別な教科「道徳」の実施に向けての対応、読書活動の充実、いじめ防止の徹底、自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進） ③ 健やかな体 ④ 小中連携教育の積極的な実践研究の推進 ⑤ 危機管理（考えられる危機、危機の発生に対する対応） ⑥ 学校における働き方改革の推進

4 重点取組内容・成果指標			中間評価	5 最終評価			主な担当者				
(1)共通評価項目											
評価項目	重点取組	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	○全教科において、学習集団や個に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を取り入れた授業改善に取り組む	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師、4件法のアンケートで80%以上	●県学習状況調査結果の分析から、校内研究の研究内容を決め、授業改善を進める。 ・教職員間で共通実践とその評価指標を共有し、校内研究によりマイプランの取組を促進する	B	・8月に県学習状況調査の分析を行い、それを基に、10月に全員がそれぞれのマイプランを反映した指導案で授業実践(公開)を行った。 ・3学期に、各自がマイプランの取り組み、成果と課題を校内研究としてまとめる。	B	・12月の県学習状況調査結果の分析を行い、学力向上対策評価シートを2月中に作成して、マイプランの成果指標の達成度を報告させる。 ・校内研究のまとめ(冊子)を書くことを通して、自己の取り組みと学校課題に対する振り返りを行う予定。 ・学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師、4件法のアンケートで71.4%	B	・学習状況調査の結果から、先生方の自己研鑽の跡がうかがえた。	・学力向上コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」「ややそう思う」と回答する生徒80%以上	●「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対し、4件法のアンケートで「そう思う」「ややそう思う」と回答する生徒80%以上	・教科書の教材を用い、年間指導計画に沿って、「考え、議論する道徳」の授業に取り組む ・情報交換や教材研究により、ワークシートの作成や発問を工夫改善する	B	・生徒アンケート(12月) 「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対して 「そう思う」・・・82.4% 「ややそう思う」・・・8.8% 計91.2% 「ややそう思わない」・・・8.8%	A	・生徒アンケート(2月) 「道徳の授業は楽しい、あるいはためになる」に対して 「そう思う」・・・76.9% 「ややそう思う」・・・15.3% 計92.2% 「ややそう思わない」・・・7.6%	A	・道徳で育つ内面的なことが学力に響くと思う。また、これからの時代の子供たちにはこれまで以上に他者の気持ちを汲んで自身の行動を考えていかなければならない。そういう意味でも大事にしてほしいし、脊振中で大事にされているものと思う。	・道徳教育推進教師 ・各担任
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	●「運動やスポーツをすることが好き」に対し、4件法のアンケートで「好き」、「やや好き」と回答する生徒95%以上	①「運動やスポーツをすることが好き」に対し、4件法のアンケートで「好き」、「やや好き」と回答する生徒95%以上	・部活動への加入を促す ・部活動の活動時間を、平日2時間、週休日3時間程度とする	C	・生徒アンケート(12月) 「運動やスポーツが好きだ」に対して 「そう思う」・・・77.2% 「ややそう思う」・・・17.1% 計94.3% 「ややそう思わない」・・・5.7%	A	・生徒アンケート(2月) 「運動やスポーツが好きだ」に対して 「そう思う」・・・88.4% 「ややそう思う」・・・7.7% 計96.1% 「ややそう思わない」・・・3.8% ・体育の授業や国スポ出前授業などを通して、スポーツに親しむ機会を多く設定した。	A	・部活動に関して、顧問の先生の指導や外部指導者の活用などで、運動やスポーツを楽しみながら続けることが生涯スポーツと関わっていく素地となっていく。	・保健体育担当 ・部活動担当 ・部活動顧問

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上については分かりやすい授業を目指して、学力向上対策評価シートを活用し成果と課題を確認しながら授業改善に取り組むことができた。また、時間内に業務を終わらせるための計画的な業務遂行への意識が少しずつ高まってきた。次年度も落ち着いた教育環境を保ちながら共通理解・共通実践が進められるように、引き続き以下の取組を行う。 ・校内研究において小中連携を継続する。生徒1人1台端末を用いた授業に取り組み始めたので、持ち帰りやオンライン授業にも対応できる授業づくりに取り組む学力の向上を図る。 ・生徒が安心して過ごせる学校生活を目指し、道徳の時間の充実させるとともに生徒指導及び教育相談における取組の充実を図り、心の教育に取り組む。 ・生徒健康診断の結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の調査結果や報告書を活用して、生徒の健康・体づくりに取り組む。 ・業務の見直しを継続し、職員の働き方に対する意識改革を進め、業務改善・教職員の働き方改革を推進する。
--------------------	---